

---

---

## ポスター No.42

---

# 地域福祉のタスキ ～地域のちよどいいつながりづくり～

---

---

### 長泉町社会福祉協議会

#### 【説明】

ポスターをご覧いただきありがとうございます。

長泉町は人口4万3千人の小さな町で、高齢化率は県内で一番低く22.3%です。平成30年度に生活支援体制整備事業が開始、さわやか福祉財団堀田会長をお招きし、『地域たすけあいフォーラム』を開催しました。地区社協が無い私たちの町では、この時初めて小学校圏域に分かれ地域住民同士が集まり、話合うことへの準備が始まりました。地域福祉検討会（勉強会）を毎月開催し、地域住民の手上げ方式により第2層協議体を設置しました。

第2層協議体構成員による住民主体の助け合い活動を紹介します。地域住民の社会参加や顔の見える関係を目指したラジオ体操は平日毎日開催しています。高齢者の困りごととして挙げた新型コロナウイルスワクチンのネット予約では、小学生から大人まで多くのボランティアにより300人以上の予約をサポートしました。そして、ちょっとした困りごとを地域で支援する有償ボランティア「チームつながり」プロジェクトが始まります。

第2層協議体のチラシづくりは、圏域に住む若い世代の協力を得て作成しています。全世代参加型の活動を目指すとともに、若い世代へ地域福祉のタスキをつないでいきます。

長泉町の全協議体による地域福祉活動の見える化や情報の流通を目的に、生活支援体制整備事業新聞を発行しています。長泉町の協議体は地域住民、地域包括支援センターのSC、行政、社協が一体となって地域福祉のタスキを胸に、毎月、毎週、毎日情報共有をしています。

「この歳になってわくわくしているよ」「これは地域への恩返し」「みんなで楽しみましょう」「おたがいさま、ありがとう」「同じ地域に暮らすご縁を大切に」「できることから」協議体構成員の方々の仲間との語らいは、地域やSCにとって、とても大切な宝ものです。

これからもどうぞよろしくお願いします。

